

市民の皆さまと コロナにも負けないまちづくりを



八街市社会福祉協議会
会長 石毛 勝

平素より地域福祉の推進にあたり、皆さまからのご支援・ご協力に対し、心からの感謝を申しあげます。

さて、昨年は新型コロナウイルス感染症の大流行により、年度当初に計画した福祉事業の実施も、自粛をさせていただき、楽しみにされていた皆さまに、大変ご迷惑をおかけいたしました。

その様な中でも多くのボランティアの皆さまの力を借りし、市行政との連携をより密にし、市民ニーズに対応すべく、支援活動を行ってまいりました。

今後も災害・コロナに負けず、日頃から市民の皆さまに「自助・共助」の大切さを再確認していただき、「すべての人に最低限の幸福と社会的援助を提供する。」という理念をもって、「困ったときは、お互いさま」という支え合いを大切に、地域に密着した福祉サービスの向上に努めてまいります。

何とぞ、これからも皆さまのご理解と一層のご支援・ご協力を賜りますよう、お願い申しあげ、皆様のご健康とご多幸をご祈念申しあげ、ごあいさついたします。



新築の児童館
「ひまわりの家」



リニューアルした老人福祉センター
「ゆうゆう」

みなさまの「大切な場所」

八街市が八街市議会の議決を経て「老人福祉センター」「南部老人憩いの家」「児童館」の三施設を指定管理者として本会を選定し、管理・運営することとなりました。

指定管理とは、公の施設の管理・運営を民間事業者を含む法人やその他の団体に包括的に代行させることができる制度です。

この指定を受け本会は、民間事業所として柔軟な運営をモットーとし市民の福祉の増進をめざします。

建設中の現地を訪問しました。リニューアルした老人福祉センターと新築の児童館は、ほぼ隣り合わせです。場所は八街市中央公園のすぐそば。陽あたりも良い静かな場所です。

老人センターは既存の建物を全面改築。バリアフリー化と太陽光発電も完備し、福祉避難所としての機能も向上しています。門からはカラフルなタイルがしきつめられていて、中に入るまでにドキドキします。児童館は鉄筋コンクリートで、車いす用のスロープもありました。どちらも南向きで開放的なスペースも充分にあるようでした。

この日は土曜日で、建設作業員の方が、急ピッチで作業をすすめている様子がうかがえました。中を見ることはできませんでしたが、今後どのように飾られて、たくさんの方々が来館されるのかと思うとワクワクしてきました。

日々の生活に欠かせない市民のみなさまが集える「大切な場所」となれるよう「明るい笑顔と感謝の気持ち」で皆さまをお迎えいたします。